



先輩たちの授業を見学する葛巻中の生徒①  
部活動体験で剣道に挑戦する江刈中の生徒②

## 中学生の体験入学 一足早い葛高生活を体験

葛巻高校の体験入学は7月1日に行われ、町内の3中学校と久慈市の山形中学校、岩泉町の岩泉中学校と小川中学校の3年生71人が参加しました。

参加者は各クラスの授業見学を皮切りに、生徒会執行部による学校説明、部活動体験と、一足早い葛高生活を体験。遠藤詩織さん（葛巻高1年）は「授業のペースが早く、予習復習が大切。毎日忙しいですが楽しいです」と自分の経験を交えて後輩を激励しました。



拾ったごみを丁寧に分別する中高生

## 中高合同で奉仕活動

葛巻高校と町内3中学校の生徒は7月19日、地域での合同奉仕活動を行いました。

この活動は、町や地域社会への理解を深め、貢献する態度を養うとともに、その一員としての自覚を持つことを目的として行われたものです。

葛巻中2年生と葛巻高2年生の計55人は、町中心部の国道沿いの道路標識の清掃、ごみ拾いを実施。遠藤舞さん（葛巻高2年）は、「たくさんのごみを拾うことができ、地域に貢献できたと思います」と話しました。この他4カ所で、草取り作業などが中高合同で行われました。

# 地域とともに 頑張る葛高生

県立葛巻高等学校（菊池優校長・生徒142人）は、地域の皆さんとともに生きる力を身につけるため日々学んでいます。7月の葛高生に注目しました。

高齢者にタスキを渡す高校生③  
岩手警察署員から活動の趣旨説明を受ける高校生④



## 高齢者宅を訪問 交通安全を呼びかけ

生活安全委員会の生徒12人は7月2日、交通指導隊や交通安全母の会の会員らとともに、高齢者の交通安全を呼びかける家庭訪問を行いました。

生徒たちは4班に分かれて、五日市と山岸地区の高齢者宅46世帯を訪問。高齢者に「事故に気をつけてください」と声をかけながら、反射タスキとチラシを配りました。



## 夢に向かって果敢に挑戦！ 進路実現の講演会

全校生徒142人は7月22日、鈴木町長から「夢しか実現するものはない」と題して、進路実現のための講話を聴きました。

鈴木町長は「失敗を恐れず夢に向かって果敢に挑戦してください。できれば葛巻に残って起業してほしい」などと生徒たちに熱く語りました。



①式辞を述べる鈴木町長 ②祝辞を述べる千葉副知事 ③講師の県立大学・柴田副学長 ④祝賀会で祝辞を述べる中崎議長  
⑤事業概要を説明する触澤副町長 ⑥祝賀会で完成を祝う出席者の皆さん

町情報通信基盤施設完成記念式典は7月24日、ふれあい宿舎グリーンテージで行われ、町民など約120人が出席し、安心・安全なまちづくりに向け決意を新たにしました。

式典で鈴木町長は「今後のまちづくりには情報通信基盤を駆使し、行政サービスの向上を図りながら、多くの町民が安心・安全に暮らし続けることができる環境の構築と、山村のモデルとなるまちづくりを目指します」と式辞を述べました。

触澤副町長が平成18年度から取り組んできた情報通信基盤施設整備の事業概要を説明。その後、岩手県立大学副学長の柴田義孝さんが「情報通信基盤を活用した安心・安全なまちづくり」と題して記念

講演。柴田さんは「葛巻町の情報通信基盤は災害対応に優れ安心・安全を確保している。情報通信技術はすべての分野に共通なツール。今後は高齢化対策や教育、子育てなどの分野に活用する段階に入っている」と訴えました。

町は、平成18年度に発生した被害総額40億円の豪雨災害を契機に、情報通信基盤を強化することを決定。450キロにわたる光ファイバー網の整備や町内11カ所の災害監視カメラ設置など、情報収集と発信手段の充実を進めてきました。さらに、屋外放送やケーブルテレビなどで災害情報を受信できる態勢を整え、今年度から本格運用しています。

安心・安全なまちづくりへ  
大きく前進

情報通信基盤施設の  
完成を盛大に祝う